



平成 27 年 11 月 24 日

消費者動向調査 No.117 「冬のボーナス使いみち調査」

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、消費者動向調査を定期的実施しています。今般、当行の連結子会社である NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「冬のボーナス使いみち調査」を実施し、調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

記

調査時期：平成 27 年 10 月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
（うち回答者 492 人、回答率 98.4%）

調査結果要約

- ◆ 今年の冬のボーナス、前年冬と比較して「多くなる」は 4.3 ポイント増加し、31.8%で過去最高。
前年冬よりも、ボーナスが「多くなる」は 4.3 ポイント増加し 31.8%で過去最高となった。「少なくなる」は 3.2 ポイント減少し 7.4%。
(調査結果本文 2P)
- ◆ 冬のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 55.7%。2 位は「旅行・レジャー」で 41.1%。
冬のボーナス使いみち予定 1 位の「貯蓄」は 55.7%で、前年冬の 58.7%より 3.0 ポイント減少した。2 位の「旅行・レジャー」は 0.2 ポイント増加して 41.1%。
(調査結果本文 3P)
- ◆ ボーナスを貯蓄・運用する目的、1 位は「将来の生活費補てんのため」で 42.7%。2 位は「将来の教育費のため」で 37.2%。
貯蓄の目的は、引き続き将来に対する備えが上位を占めている。
(調査結果本文 4P)
- ◆ 冬のボーナスを貯蓄・運用する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が 1 位で、59.6%は過去最高。
景気は穏やかな回復基調にあるものの、安全性を重視する割合が引き続き高水準。
(調査結果本文 5P)
- ◆ 関心がある金融商品、1 位は「預貯金」で 72.6%。
1 位の「預貯金」への関心は 72.6%、2 位の「保険・共済」は 33.3%。
(調査結果本文 6P)
- ◆ 冬のボーナス、自由に使える金額は、前年冬に比べて夫は 5 千円ダウン。妻は 4 千円ダウン。
ボーナスが「多くなる」と予想する割合が増加したが、「自由に使える金額」は前年冬から夫・妻ともに減少した。
(調査結果本文 7P)

調査結果本文は[こちら](#)

この調査に関するお問い合わせ先は			
西日本シティ銀行	広報文化部	長谷川	TEL 092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング	調査部	原	TEL 092-476-3051

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。